

(令和4年度)

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専攻	国際交流・協力コース	対象学年	3年
講義日	令和4年12月1日(木)		
テーマ	ミャンマー難民の移動と定住—ドキュメンタリー映画を通して		
講師	京都大学東南アジア地域研究研究所 連携講師 直井 里予		
講義内容			
<p>東南アジアは、多様な民族、宗教、文化で構成されています。その多様性を共存させつつ、民族や宗教の抗争や貧困など、多くの問題も抱えています。このような多様性の中で、人々はどのように社会で関係性を形成し、維持しているのでしょうか。また、人々の日々の生活を支える地域の諸問題を解決するには、どうすればよいのでしょうか。</p> <p>本講義では、タイ・ミャンマー国境に位置する難民キャンプで生まれ育ったミャンマー難民の少年とその家族の生きざまと心の軌跡を10年間に渡り描いたドキュメンタリー映画『夢の終わり—OUR LIFE 2』を通して、ミャンマー難民は、難民キャンプの変化とどのように関わりながら生き、第三国定住地でどのような社会関係を形成しているのか考察します。</p> <p>また、2021年2月1日のミャンマーで発生した軍によるクーデターが、難民の帰還にどのような影響を与えたのかを考察しながら、ミャンマーの現状を難民問題の視点から議論します。</p>			
講師からのメッセージ			
<p>映画の上映の後は、各グループにわかれて、ディスカッションと発表を行います。日本における難民の受け入れ政策や難民支援の在り様など、皆さんと一緒に考えていければと思います。</p>			

(令和 4 年度)

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	国際交流・協力コース	対象学年	3 学年
講義日	令和 5 年 2 月 13 日(月)		
テーマ	ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の神戸		
講 師	元芦屋大学教授 楠本利夫		
講義内容			
<p>1890(明治 23)年 4 月、ラフカディオ・ハーンは、海路、横浜に着き、横浜を拠点に寺社仏閣等を巡り、日本の美しさに魅了され、日本に数年間滞在して紀行文を書くことにした。文部省の服部一三局長(後・第 13 代兵庫県知事)が、ハーンに島根県立尋常中学校教師の仕事に就かせた。8 月下旬、ハーンは、人力車で中国山地を越え松江に赴任した。</p> <p>1894(明治 27)年 10 月、ハーンは英字紙「神戸クロニクル」の論説記者になるため、神戸に移住した。ハーンは、毎日、自宅(現・兵庫県公館北東)から、坂道を徒歩で下り、栄町 1 丁目の新聞社に通い、新聞社に着くと、驚異的な集中力で 1 本の論説を書きあげて帰宅した。12 月 14 日頃、過労のため眼に炎症を起こして倒れたハーンは、暗い部屋で眼に湿布をあてて安静にし、執筆を休んだ。ハーンは神戸で生涯の伴侶セツと正式に結婚して日本人小泉八雲になった。</p>			
1. 欧州時代:1850(嘉永 3)~1869(明治 2)			
2. 米国時代:1869(明治 2)~1890(明治 23)			
3. 日本時代:1890(明治 23)~1904(明治 37)			
①松江:明治 23. 8~明治 24.11(1 年 2 か月半) 島根県立尋常中学校(英語教師)			
②熊本:明治 24.11~明治 27.10(3 年) 熊本第五高等学校(英語教師)			
③神戸:明治 27.10~明治 29. 9(2 年) 「神戸クロニクル」(論説記者)			
④東京:明治 29. 9~明治 37. 9.26(8 年) 東京帝国大学講師、早稲田大学講師			
4. 神戸時代			
① 神戸で正式に結婚し日本人小泉八雲に			
② 神戸での住所			
③ 神戸時代の眼科医(新発見)			
④ ハーンが見た神戸			
⑤ 神戸では知られていなかったハーン			
講師からのメッセージ			
<p>ハーンといえばだれもが松江を思い出すが、ハーンが松江に住んでいた期間は、次の熊本、その次の神戸、最後の東京に比べると一番短い。ハーンが見た居留地時代の神戸と、ハーンに関する新発見の事実を含め、神戸時代のハーンの意外な姿をわかりやすく紹介する。</p>			